

CODE 080100-052
080100-055
080100-0510

真空採気びん

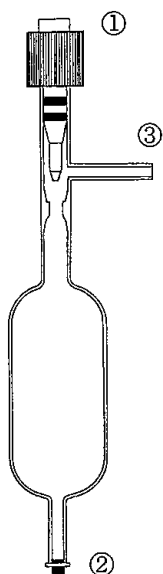
取扱説明書

<仕 様>

捕 集 容 量		200mL	500mL	1L
材 質	採 気 び ん	ガ ラ ス		
	バ ル ブ	P T F E (四フッ化樹脂)		
	注 入 口	シリコンゴム		
	Ｏ－リング	フッ素ゴム (バイトン)		
寸法 (ガラス部)		φ 56×約 215 mm	φ 80×約 240 mm	φ 95×約 290 mm
質 量		約 140 g	約 250 g	約 380 g
品 目 コ ー ド		080100-052	080100-055	080100-0510

※ Ｏ－リングは試料空気とは接触しません。

<使 用 方 法>



- (1) 試料を捕集する前に真空採気びんの内面を洗浄し、試料空気を混合するのに清浄なガラスビーズ (直径 3 ～ 5 mm) 等を少量入れておきます。ガラスビーズ (未付属) は、真空びん内の空気の攪拌に用います。
- (2) 真空採気びんの ① のバルブを開き、吸引口 ③ (外径 φ 10 mm) に真空計及び真空ポンプ (未付属) を接続します。
- (3) 真空ポンプを作動させ、採気びん内を 1.33kPa 以下に減圧した後、バルブ ① を閉じます。
- (4) 測定点に行き、バルブ ① を開き、徐々に吸引し、真空採気びん内が大気圧と等しくなったら、バルブ ① を閉じます。
- (5) 注入口パッキン ② に注射針を差し込み、適量のガスをシリンジにとり、ガスクロマトグラフにかけます。

＜使用上の注意＞

- (1) 真空採気びんをときどき点検し、漏れの確認をしてください。
- (2) バルブ ① のＯーリングまたは摺動部にはグリース等は用いないでください。
試料がグリース等に吸着し、また試料空気を汚染するおそれがあります。
- (3) 真空採気びんの洗浄には、窒素または清浄空気を 2～3 回送風して排気し、
分析に影響がないように汚染物を除去します。内面の洗浄に水や洗剤を用い
ると後に影響が現れることがありますので、一般には気体による洗浄が望ま
しいとされます。
- (4) 採取した試料空気は、直射日光や高温を避けて保存し、なるべく早く分析す
ることが必要です。

＜付 属 品＞

品 名	個 数
注入口パッキン	5 個

10.10.26H (02)



SIBATA SCIENTIFIC TECHNOLOGY LTD.

柴田科学株式会社

本 社 〒340-0005 埼玉県草加市中根 1-1-62

東京営業所 ☎03-3822-2111 福岡営業所 ☎092-433-1207

大阪営業所 ☎06-6356-8131 仙台営業所 ☎022-207-3750

名古屋営業所 ☎052-263-9310

<http://www.sibata.co.jp/>

カスタマーサポートセンター（製品の技術的サポート専用）



0120-228-766

FAX : 048-933-1590